



あったか荻野

【学校教育目標】

「自ら学び、心豊かにたくましく生きる子どもを育成する」



横須賀市立荻野小学校

学校だより 第 10 号

令和3年 12月 20日

校長 : 山田伊久男



荻野小は今年創立 40 周年です。

荻野小学校が生まれたのは 40 年前の昭和 57 年（1982 年）。そのころ、大楠小の人数が増え、この辺りに住んでいた児童がバスで大楠小に行こうとしても、乗りきれない人が出て大変だったそうです。そこで学校建設要望の声が高まり、長坂・荻野・太田和・林の一部を学区として、大楠小の一部と武山小の一部が合わさる形で、荻野小は誕生しました。

隣の大楠高校もほぼ同時期の建設ですが、もともとこの辺りに人家はなく、蘆原と田んぼだけで、埋め立てをするのに 3 年くらいかかったそうです。最初は校舎だけで、体育館やプールは開校した後から作られました。最初の入学式は、体育館がないので図書室で行いました。今は大きく成長した「荻野の森」や中庭の木々も、その当時植えられたものです。

開校時の児童数は 700 人を超えていましたが、最近は 150 人ほどです。「あったか荻野」という言葉は、こぢんまりとしたところも含めて、目指す姿を表す言葉だと思っていました。が、実はこの言葉は、平成 17 年、児童数がまだ 500 人を越えていた年に始まりました。また、学校目標の「グー・チョキ・パー」はさらに古く、開校 2 年後の昭和 59 年に始まっています。どちらも本校にとって大切な言葉として脈々と受け継がれています。

さて、本校の創立記念日は 5 月 24 日です。しかし、コロナ禍もあり、本日 12 月 20 日に、ささやかながら「40 周年を祝う会」を行いました。

40 周年を祝うにあたり、PTA のみなさまには記念のクリアファイルを作っていただきました。本当にありがとうございます。「40 周年記念誌」とあわせてご覧ください。また、本校を卒業されたみなさまには、在校当時のエピソードや、これからの荻野小についての思いなどを、お子さまに話していただければ幸いです。

学校の中心は児童です。これからの荻野小がどのように育っていくのか、児童がそれを体現してくれると思います。地域のみなさまとともに歩んできた本校らしさを忘れずに、また、「グー・チョキ・パー」と「あったか荻野」を、時代に合わせた形で大切にしていけるように、教育活動に取り組んでいこうと思います。



校舎建設前